

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画の名称

おとふけ・いけだ広域連携観光推進プロジェクト

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道河東郡音更町及び中川郡池田町

## 3 地域再生計画の区域

北海道河東郡音更町及び中川郡池田町の全域

## 4 地域再生計画の目標

音更町と池田町は、共に観光と農業を基幹産業とし、北海道を代表する大河・十勝川などの豊かな自然環境に恵まれた町である。

音更町は北海道遺産に認定されている「十勝川温泉」、池田町は国内初の自治体経営による「十勝ワイン」を核とした観光振興を図っているところであるが、外国人観光客が増加傾向にある北海道にあって、両町の観光客数の伸びは鈍化しており、観光地としての魅力向上が求められている。

十勝川温泉を中心とした宿泊施設を有する音更町とワイン城等の観光施設を有する池田町が、それぞれの観光地としての魅力を高めるとともに、隣接する地理関係を活かして双方の強みを補完・融合し、新たな観光ルートの創出、ブランド化により、「点」から「線」「面」の観光へ強化・進化することで、「選ばれる観光地」「滞在してもらえる観光地」への飛躍を図り両町の交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ることを目的とするものである。

### 【数値目標】

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末	平成 33 年 3 月末
音更町・池田町 の観光入込客数	18,000 人	18,200 人	18,300 人	18,600 人	19,300 人
音更町・池田町の 主要観光施設（ガ ーデンスパ十勝川 温泉・ワイン城） の売上高	37,353 千円	108,059 千円	142,412 千円	18,730 千円	59,976 千円

※数値は対前年度比増加値

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

音更町・池田町双方の観光資源の高付加価値化、さらには隣接する地理関係を活かした新たな観光ルートの創出・ブランド化により、「点」から「線」「面」の観光へ強化・進化し、「選ばれる観光地」「滞在してもらえる観光地」への飛躍を図る。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

#### ① 事業主体

北海道河東郡音更町及び中川郡池田町

#### ② 事業の名称

観光資源・食の高付加価値化による広域観光ルート創出・ブランド化事業

#### ③ 事業の内容

##### ・観光資源開発事業

両町の観光資源の現状把握、観光客満足度、リピーター率などのマーケティング調査を実施するほか、両町の観光拠点の強化等により観光地としての魅力向上を図るほか、新たな観光資源の開発を行う。また、交流人口の増加、地域活性化を図るための核となる観光振興策を計画し、広域連携による取組みを強化する。

##### ・食の魅力向上対策事業

食による観光振興を担う人材育成を行うほか、両町特産品のコラボレーション、共同特産品の開発を行う。

##### ・新たな観光ルート創出・ブランド化事業

両町の付加価値の高い観光資源や食を結び付け、新たな観光ルートの創出・ブランド化を進め、両町の交流人口の拡大を図る。

##### ・受入環境整備事業

国内外の観光客の快適・円滑な移動・滞在のための環境整備を図るとともに、観光資源や食の高付加価値化を進める人材育成、観光事業従事者のスキルアップ等を行いホスピタリティの向上を図る。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

新たに組織する協議会には、地域DMO候補法人として登録済みで

ある十勝川温泉旅館協同組合が加わり、当該事業推進の中心的な役割を果たし、将来的には池田町も含めた広域の地域連携DMO構築により、交付金に頼らない事業展開を目指す。

### 【官民協働】

地域DMO候補法人として登録済みである十勝川温泉旅館協同組合を中心に、両町観光協会、商工会、音更町物産協会が民間事業者として本事業に参画、両町共同事業の事業主体である（仮）音更町・池田町広域観光振興協議会の事務局業務を音更町が担い、池田町と密に連携を図りながら事業を進める。また、北海道大学が池田町の観光振興計画策定の総合的な支援を行うほか、地域の金融機関は事業に対する助言等の支援を行う。

### 【政策間連携】

本事業で取り組む観光資源・食の高付加価値化、新たな観光ルート創出・ブランド化は、地域経済の活性化、雇用増加、観光事業者の人材育成、農畜産物の生産・消費拡大による農業振興など多くの政策に波及効果をもたらすことが期待できる。

### 【地域間連携】

隣接する音更町と池田町が地理的一体性を活かし、お互いの観光資源を組み合わせることで新たな観光ルートを創出することで相乗効果の発現が期待できるほか、点ではなく線・面による効果的なPRが可能となる。

### 【その他の先導性】

特になし

## ⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末	平成 33 年 3 月末
音更町・池田町の観光入込客数	18,000 人	18,200 人	18,300 人	18,600 人	19,300 人
音更町・池田町の主要観光施設（ガーデンSPA十勝川温泉・ワイン城）の売上高	37,353 千円	108,059 千円	142,412 千円	18,730 千円	59,976 千円

※数値は対前年度比増加値

⑥ 評価の方法、時期及び体制

両町がそれぞれ外部組織による検証を行い、議会の関与を得ながら検証結果をまとめ、必要に応じて地方版総合戦略の見直し等に反映させる。検証結果は両町のホームページ、広報紙等で公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 398,175千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成33年3月31日（5ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

両町がそれぞれ外部組織による検証を行い、議会の関与を得ながら検証結果をまとめ、必要に応じて地方版総合戦略の見直し等に反映させる。

目標1

音更町・池田町の観光入込客数については、北海道観光入込客数調査の毎年度末の数値から把握する。

目標2

音更町・池田町の主要観光施設の売上高については、両施設の毎年度の決算額から把握する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年
--	-------	-------	-------	-------	-------

	3月末	3月末	3月末	3月末	3月末
音更町・池田町の観光入込客数	18,000 人	18,200 人	18,300 人	18,600 人	19,300 人
音更町・池田町の主要観光施設（ガーデンスパ+勝川温泉・ワイン城）の売上高	37,353 千円	108,059 千円	142,412 千円	18,730 千円	59,976 千円

※数値は対前年度比増加値

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、両町のホームページ、広報紙等で公表する。